

地域おこし協力隊 レポート Vol.42

問 シビック・イノベーション拠点「スナバ」 ☎ 0263②0735



今月の地域おこし協力隊

辰巳 和生

大阪府出身。「スナバ」のスタッフとして、地域と人、人と人をつなぐコミュニティー作りに尽力する。

「地域のいばしょ」や「地域接点の場」を目指して

シビック・イノベーション拠点「スナバ」に勤務しながら、賛川宿の愛しき古旅館で「宿場noie坂勤」というシェアハウスを運営し、自らもそこに暮らしている地域おこし協力隊のたつみです。塩尻は晴れている日が多くて気持ちが良いですね。新型コロナウイルス騒ぎとなり外に出る機会は減ってしまいましたが、二つの土蔵がそびえる中庭の緑が、少しずつ芽吹いていく景色を眺める日々が充足感を感じています。坂勤での暮らしが始まったのは昨年の6月から。空き家バンクを通じて大家さんにご縁をいただき、大家さんの愛情が詰まった家をお借りすることになりました。

「地域のいばしょ」「地域接点の場」となる家として、地域内外の人たちの交流を生み出す拠点としたい。そんな思いを持って、地域に開いたシェアハウスの運営を始めました。地域の皆さんや友人、知人からたくさんのご支援・ご協力をいただき、5人のシェアメイトと7人の二拠点メンバー（本居を持ちながら毎月坂勤に数日滞在する人）との共同生活をしながら、ご近所さんのお漬物をおいしくいただく坂勤での日々は、これまた充足感!!

新型コロナウイルス騒ぎが落ち着くまでは二拠点メンバーを含む県外者の出入りを見合わせているところですが、収束後はより一層の交流が生まれることを願い、日々を過ごしていきたいと思っています。落ち着いたらぜひ、「宿場noie坂勤」に遊びに来てください。



地域の人たちの交流を生み出す拠点を目指します。

市長が 投げる 球

Part29



塩尻市長
小口 利幸

バイオマス発電元年特集Ⅱ

② 里山整備について

最近、市内を車で走っていて里山がきれいに整備されつつあるの気が付きませんか？ 例えば国道19号沿いの宗賀洗馬「どんぐりプロジェクト」周辺、山麓線沿いの片丘地区、洗馬岩垂の河岸段丘などです。

各種の補助金（皆さまから頂いています）を活用し、林道・作業道の整備、間伐を進めています。建築用素材に不向きな材の多くは、片丘地区に今秋稼働予定のバイオマス発電用燃料に活用されます。

従来、放置されていた「山の家宝」に日の目が当たる瞬間が訪れています。個人・団体で山林をお持ちの市民の皆さま、ぜひ一度、塩尻市森林公社（☎0263③16733）に相談してみてください。近所の皆さんと連携して山林整備を始めましょう。事業化によって利益が出れば現金にて還元されます。損金が発生しても請求

③ 松くい虫対策について

は致しません。子どもたちにきれいな地球を残すための入り口です。

これまで増加し続けてきた松くい虫被害が、令和元年度には減少しましたが、一時的な成果であってはなりません。小さな線虫です。自走は困難とされています。前記の事業でアカマツを優先的に伐倒し、緩衝帯として市内への拡散を防ぎます。

世界中が奮戦している新型コロナウイルス対策と比較するべくもありませんが、人類の努力は何物にも必ず打ち勝つものと信じ、未来に向かいます。



バイオマス発電燃料になります。

